

主な出品作家  
 石井幸之助  
 白井薫  
 大石芳野  
 岡村昭彦  
 影山光洋  
 アンリ・カルティエ＝ブレッソン  
 菊池俊吉  
 木村伊兵衛  
 ロバート・キャバ  
 熊谷元一  
 島田謹介  
 W. ユージン・スミス  
 田中一郎  
 田沼武能  
 田村茂  
 土田ヒロミ  
 東松照明  
 土門拳  
 長倉洋海  
 長野重一  
 中村梧郎  
 中村立行  
 濱谷浩  
 林忠彦  
 樋口忠男  
 藤本四八  
 細江英公  
 カール・マイダース  
 牧田仁  
 宮武東洋  
 山端庸介  
 吉崎一人  
 ドロシア・ラング  
 はか

# こどもの情景

## 戦争とこどもたち

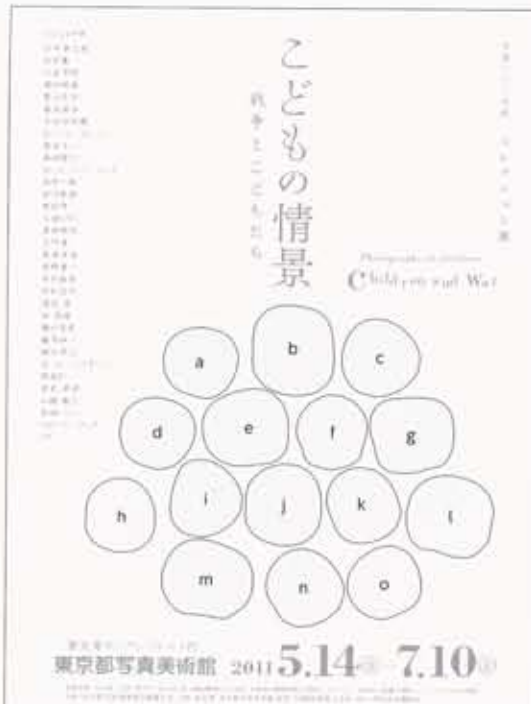
平成二十三年度 コレクション展

Photographs of children  
 Children and War



恵比寿ガーデンプレイス内  
**東京都写真美術館 2011 5.14(土) - 7.10(日)**

開館時間=10:00 ~ 18:00 (本・金は20:00 入館は閉館の30分前) ※最新の開館情報はお問い合わせください。休館日=毎週月曜日  
 会場=東京都写真美術館3階展示室 主催=東京都 東京都写真美術館 協賛=凸版印刷株式会社 協力=株式会社講談社



●中村梧郎/右腕欠損で生まれたジュニ、結核菌被曝認定患者・もと降下兵ダニエル・ロニの娘、ベトナムから帰還した後に生まれた子だった。ダイオキシンは遺伝子(DNA)レベルでの損傷を引き起こすとの研究報告もあり、アメリカの帰還兵団は障害をもつて生まれたこともたちの支援も行っている。(フィクショナル、1982年11月5日) ●石井幸之助/戦災孤児九州君/1946年 ●カール・マイダース/赤ん坊を背負った少女とその弟/1945年 ●田沼武能/まごころらひんか 東京、浅草/1955年 ●長倉洋海/生まれたばかりの赤ん坊を取り囲む難民の子たち/1982年 ●細江英公/乞食の母子 銀座数寄屋橋上/1952年 ●林忠彦/靴みがきの子供が多かった(上野)「カストリ時代」より/1946年 ●樋口忠男/銀座/1945-48年 ●山端庸介/泣く元気のない乳のみ子。医師をさがす父親。井筒の口町付近(離心地より南南東1.5km)「長崎ジャーニー」より/1945年8月10日 ●W. ユージン・スミス/東部への歩み「ファミリー・アンプ・フランス」より/1946年 ●木村伊兵衛/牛込・子どもの陣組/1940-41年 ●田中一郎/上川原町/1939年 ●熊谷元一/へんとうを食べる「小学1年生」より/1953-54年 ●東松照明/姉妹/1955年 ●長倉洋海/銃弾を受けたバスから外を見る少年/1990年

Photographs of children  
**Children and War**



宮武東洋/バントワラーになるのを夢見て練習することたち。収容所の中であっても出来るかぎり、こどもたちは普通の生活をおくらせる配慮がなされた。マンザナー収容所/1942-45年

岡村昭彦/Vietnam-13 全身にやけどを負った戦場のこども。戦争は木の家を街を、そして、いたいけ女子さとも焼く。(ヴェトナム・1964年、LIFE) 6月12日号掲載



白井薫/ぬんぬんころり/1956年



藤本四八/築地(中央区)、産院より退院(リヤカーで) /1947年

# こどもの情景

## 戦争とこどもたち

平成二十三年度 東京都写真美術館コレクション展

写真史上の有名作品からあまり目に触れる機会のない作品まで、時代を超えた魅力を持つ写真作品を「戦争とこどもたち」というキーワードで当館のコレクションからご紹介いたします。いつの時代も、純真無垢で愛らしい「こども」は多くの人々を魅了し、見たいという気持ちにさせる被写体です。戦火や爆撃によって傷ついた「こども」には、胸が締めつけられる思いがし、戦後復興のなかで一生懸命に生きようとする「こども」のたくましさや無邪気さは生きる勇気を与えてくれます。「こども」という存在は、見る者の心を揺り動かす力のある対象といえるでしょう。

当館コレクションのなかで「戦争」関連の写真作品は、第二次世界大戦やヴェトナム戦争が数多く占め、その周辺も含めると1930年代から1950年代に撮影されています。その時代はまさに、フォトジャーナリズム全盛であり、写真表現の可能性に強い注目が集まった時代でもあります。本展は、写された「こども」のすがたと、激動の今を生きる私たちのすがたとを重ねあわせながら、写真の多様性を模索します。

【担当学芸員によるフロア・レクチャー】  
 会期中の第2、第4金曜日午後4時より、担当学芸員による展示解説を行います。  
 ※本展覧会の半券(当日有効)をお持ちの上、会場入り口にお集まりください。  
 【公式ガイドブック】  
 「こどもの情景」講談社刊 定価1,800円(税別)  
 東京都写真美術館ミュージアムショップ ナディック・バイテン  
 5月14日(土)より限定発売  
 【次回展覧会告知】  
 「こどもの情景」こどもを撮る技術」7月16日(土) ~ 9月19日(月・祝)

観覧料：一般500円(400円)/学生400円(320円)/中高生・65歳以上250円(200円)  
 ※(一)内は20名以上の団体料金 ※東京都写真美術館友の会会員 小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は6歳以上無料

東京都写真美術館 www.syabi.com

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3  
 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099

■ 京浜東北線恵比寿駅より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。  
 ■ お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

